新型コロナウイルス感染症対策避難所として開設された赤前小体育館に避難した住民

from 3.11
東日本大震災10年

あの日を繰り返さない

宮古市は東日本大震災の発生から10年の11日、日本海溝・千島海溝地震による津波の浸水想定拡大や新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難訓練を行った。住民はあの日を思い起こし、高台で命を守る意識を高めた。

浸水想定拡大　新型コロナ対策

宮古市、迅速避難へ訓練

訓練は午前6時ごろ、三陸沖を震源とする地震により大津波警報が発令された想定で実施。市内130カ所の津波避難場所などに市民約700人が身を寄せた。

同市赤前では、地元消防団が自動閉鎖する水び門の安全確認や避難誘導に当たり、住民約80人が高台にある赤前小へ避難した。

コロナ対策避難所として開設された同校体育館では▽検温や手指消毒▽体調不良者用の間仕切りや簡易ベッド設営▽密集回避のため床にテープを貼り2㍍四方確保▽炊き出し代替として備蓄の水や食料配布―などを実施した。

震災当時、同校体育館で避難所運営を手伝った佐々木芳(ほう)さん(26)＝同市赤前＝は「10年前はプライベート空間やベッドはなかった。コロナ対策で設備が充実していくのはありがたい」とうなずいた。

日本海溝・千島海溝地震による津波で浸水想定範囲が大きく拡大する同市津軽石地区では、津波避難場所に追加された馬越階段高台に約20人が集合。近くに住む佐々木美代子さん(73)は「津波や台風豪雨の被害を経験しているので、災害の時はとにかく逃げるようにしている」と気を引き締めた。

同市は震災の記憶を風化させないため震災後の毎年3月11日に津波避難訓練を実施。内閣府による同地震の津波想定を受けて2月に暫定版ハザードマップを全戸配布し周知を図っている。（工藤光）

共につなげる教訓のバトン

伝承ギャラリー開所

山田

山田町川向町の町まちなか交流センターに町が整備した東日本大震災の伝承ギャラリーは11日、開所した。発災直後から各地区の復興事業完了までの歩みをパネルや映像資料で示し、あの日の教訓と新たな郷土の姿を伝えていく。

ギャラリーは2階交流スペース内の1区画を活用した。地元の校務員の進言で校庭からさらに高台に逃れた船越小の避難行動も詳細に示した。町中心部を一望する3階デッキにも解説パネルを設け、語り部活動との連動を図った。

同町川向町でクリーニング店を営む横田司さん(58)は震災当日、孫を連れて津波から逃れたことを思い返し「今も地震がくると身構える。震災を知らない世代が増えていく中で、当時の出来事を伝承していく必要がある」とパネルを見つめた。

観覧無料で午前9時～午後5時。火曜休館。

展示資料を見つめ震災当時を振り返る来場者

手掛かり懸命に探す

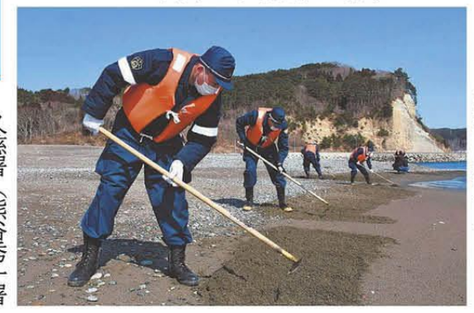
久慈

久慈署（熊谷秀一署長）と八戸海上保安部（松川勝紀部長）は11日、久慈市夏井町の久慈湊漁港付近の海岸で、東日本大震災の行方不明者捜索を行い、手掛かりを懸命に探した。

署員と保安部職員計17人が参加し、海に向かって黙とう。スコップやレーキで砂や小石をかき分け、出てきたものを手に取って一つ一つ丁寧に調べた。

大槌町赤浜出身で、津波で自宅が流失した同署地域課の千葉舜巡査(20)は「震災を風化させないため今後も継続して参加していく。警察の捜索活動を当時を思い出すきっかけにしてほしい」と力を込めた。

県警は月命日付近の捜索を今後も続ける方針。同日は大船渡署、岩泉署も行った。県によると、2月末現在で県内の不明者は1111人。


行方不明者の手掛かりを探す久慈署員

苗木に託す感謝の心

久慈

久慈市の久慈港環境美化協会（兼田忠康会長）は11日、東日本大震災の発生から10年に合わせ、同市夏井町の半崎緑地公園周辺にサクラの苗木80本を植樹した。昨年分と合わせて目標の計100本となり、参加者は未来への願いや支援への感謝を込めた。

会員ら約90人が参加。シャベルで深さ約20㌢の穴を掘り、約1・2㍍の苗木に丁寧に土をかぶせた。

兼田会長(58)は「花が咲けばここが市民の憩いの場になる。大事に育て、未来につなげていきたい」と願いを込めた。

同会は復興支援への感謝を伝えるため、昨年から植樹活動を実施。苗木は日本花の会（東京）が病気や塩害に強い「神代曙（じんだいあけぼの）」を無償提供した。同日は現地で記念看板の除幕も行った。

青空の下、サクラの苗木を優しく植える参加者たち

姉妹都市が絆の植樹

釜石

釜石市の姉妹都市、愛知県東海市の鈴木淳雄(あつお)市長は11日、釜石市を訪れ、桜の木2本を寄贈した。東日本大震災後の支援を通じて一層固くなった絆の証しとして、復興が進んだ新たなまちに根を張る。

土地区画整理事業で2月末に完成したばかりの平田地区4号公園で植樹式を行い、釜石市の野田武則市長や地元住民ら約30人が出席。鈴木市長は「あの痛ましい震災から10年の節目の植樹。桜の成長とともに東海と釜石の友好を深めたい」とあいさつし、土をかぶせた。

両市は2007年に姉妹都市となり、東海市は震災発生の数日後から物資を供給したほか、職員計21人を派遣。ラグビーワールドカップ（W杯）開催に向けた基金への寄付など、息の長い支援を続けてきた。

野田市長は「東海市のおかげでW杯の成功があったことを次世代にも引き継いでいく」と述べた。

桜の木を植樹し、友好を深めた釜石市と東海市の関係者

三鉄社員が記憶継承

三陸鉄道（中村一郎社長）は11日、「3・11を語り継ぐ感謝のリレー列車」を運行した。三鉄社員が東日本大震災当時の様子などについて写真を見せながらガイドし、語り継ぐことの大切さを伝えた。

県内外の30人が乗車した。4時間半かけて盛―久慈駅間を運行。中村社長ら三鉄社員7人が震災当時の線路や列車、避難の様子などをリレー形式でガイドした。列車は午後2時46分に宮古市の閉伊川橋梁(きょうりょう)で停車。参加者は目を閉じ、1分間の黙とうをささげた。

さいたま市から参加した会社員遠藤丈史さん(40)は「小さい頃に乗った三鉄からの景色が忘れられず参加した。当時と全く違う景色やガイドの話を通じて津波の恐ろしさを改めて感じた。教訓を生かすため、語り継ぐことが大切と思った」と振り返った。

中村社長は「震災から10年。これまでのたくさんの支援に感謝し、今後も三陸地域のために取り組んでいく」と思いを語った。

犠牲者を思い、列車の中から黙とうをささげる参加者

高田高生に命の講演

陸前高田

陸前高田市の高田高（村上弘校長、生徒365人）は11日、同校で東日本大震災メモリアル行事講演会を開いた。前市教育長の金賢治さん(62)が命の重みや大切さを説いた。1、2年生と教職員約270人が参加。震災後に大船渡中校長なども歴任した金さんは「今伝えたいこと」と題し、子どもたちと接する中で感じた思いや気付きを話した。

金さんは「あなたのことを大切に思っている人に悲しい思いをさせないために、自分の命をしっかりと守ることをするべき」と呼び掛けた。大切な人を失った喪失感は何年たっても消えないが、「亡くなった人はいないけどいる。心の中で共に生きるという感覚が大事」と説明した。

聴講した及川正嗣さん（2年）は「この10年間でさまざまな困難を乗り越えてきたことに自信を持つことが大事だと感じた」と前を向いた。

命の大切さを生徒に訴えた金賢治さんの講演会

「帰る日」願い相談会

陸前高田

県警（大浜健志本部長）は11日、陸前高田市高田町の奇跡の一本松ホールで東日本大震災の身元不明者相談会を開いた。震災10年の節目となる同日は県内外から12組20人が訪れ、行方不明の家族の情報を求めた。

家族2人が行方不明となっている埼玉県富士見市の会社員雨宮静香さん(22)＝釜石市鵜住居(うのすまい)町出身＝は2人の特徴や震災当日の状況などを伝えた。「10年前は子どもで何もできなかったが、自分から行動を起こしたいと思い初めて参加した。一日も早く見つかってほしい」と強く願った。

相談会は2014年から沿岸各地で開かれ、今回で49回目。延べ542人が参加した。

県警が収容した遺体のうち48人の身元は今も不明なままで、県警捜査一課の小山強検視官室長は「家族にお帰しするため、今後も相談会を継続する。ささいな情報でも提供してほしい」と呼び掛ける。

震災不明者の情報をやりとりした相談会

逃げること孫へ継ぐ

津波てんでんこ

題字　山下文男さん

大船渡市末崎町
漁業
山本　春夫さん(73)

震災発生直後、大船渡町方面から車で戻り「これなら大丈夫」と思って低地に下がった。そこで津波に巻き込まれた。運よく車の下に漁具の浮きが入り、海面から浮いた状態で流され、陸上にはい上がることができた。この10年で復興が進み、施設は立派になったが忘れられない。津波から逃げることを子から孫へと言い聞かせなければいけない。

市町村長　きょうの日程

▽戸羽陸前高田市長　市議会定例会・予算等特別委員会
▽戸田大船渡市長　JUMPプログラム東日本大震災10年オンラインイベント、部課長会議
▽野田釜石市長　市議会定例会
▽山本宮古市長　庁内用務
▽神田住田町長　議会定例会、町社会福祉大会
▽平野大槌町長　町議会定例会・議案審議
▽佐藤山田町長　予算特別委員会、町議会定例会
▽中居岩泉町長　町議会定例会
▽石原田野畑村長　村議会予算特別委員会
▽遠藤久慈市長　百歳長寿祝、予算特別委員会
▽水上洋野町長　庁内用務、来客対応
▽小田野田村長　野田中卒業式、村議会
▽柾屋普代村長　庁内用務

いわて漁業無線情報（11日）

◆釜石無線局所属船

▼指導調査船

岩手丸　12時N38.56E142.04　水温7.7気温7.9気圧1027.3　風SSW6㍍波2ウネリE1天気晴れ雲量4　7時40釜石発　椿島沖海洋観測中

北上丸　12時N39.40E142.01　水温7.7気温7.1気圧1028　風SE10.2㍍波3ウネリS2天気晴れ雲量0　7時10釜石発仔稚魚および動物プランクトン調査中　調査終了後釜石向け14時40入港

▼マグロはえ縄船

18欣栄丸　35回目操業中
81欣栄丸　操業中
83欣栄丸　76回目操業中
85欣栄丸　操業中
88欣栄丸　操業中
128欣栄丸　119回目操業中
138欣栄丸　170回目操業中
151欣栄丸　セレベス海南下続航中
158欣栄丸　操業中
1勝運丸　操業中
88清福丸　215回目再開操業中
23新生丸　操業

沿岸

久慈支局　0194(53)3030
宮古支局　0193(62)1771
釜石支局　0193(23)5107
大船渡支局　0192(27)3070
陸前高田支局　0192(55)2590

販売店

大野 (77)2546	岩泉 (22)2304
八木 (67)2241	小川 (25)4063
中野 (67)2126	区界 (77)2101
種市 (65)5165	釜石 (25)1250
久慈 (52)1114	唐丹 (55)3016
久慈湊 (53)2895	鵜住居 (28)3244
侍浜 (67)2126	大槌 (42)5691
山形 (72)2039	大船渡 (26)3122
野田 (78)3567	盛 (27)1980
普代 (35)3545	末崎 (56)4910
みやこ (62)1615	越喜来 (44)3568
みやこ河南 (65)0555	高田 (55)2710
津軽石 (65)0555	小友 (56)2235
田老 (87)2062	広田 (56)4910
山田 (82)9517	住田 (46)2544
小本 (22)2304	気仙沼 (22)0202

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。